

## 令和3年度 第1回 岳北地域高校の魅力づくり研究協議会 会議録概要

- 1 開催日時 令和3年8月3日(火) 午前10時30分～11時45分
- 2 場 所 飯山市役所4階 全員協議会室
- 3 出席者 別紙

### 4 会議の経過及び発言

#### 1 開 会

学校教育係長)

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので只今から、令和3年度第1回岳北地域高校の魅力づくり研究協議会をはじめたいと存じます。

私は飯山市学校教育係長の浦野と申します。当面の間、この会議の進行を務めます。よろしく申し上げます。

会議に入ります前に連絡事項を1点申し上げます。本日みなさまにお配りしてあります資料の確認をお願い致します。次第、名簿、資料1～4、そして岳北地域における高校教育のあり方について(意見・提案書)、飯山高校・農林高校からもそれぞれ資料がありますのでご確認いただければと思います。

それでは、会議の次第に沿って進めてまいります。本会議の会長を務めます足立市長からみなさまにごあいさつを申し上げます。

#### 2 あいさつ

足立会長)

みなさんおはようございます。飯山市長の足立でございます。本日はお忙しい中、委員のみなさま方にはご参集いただきまして大変ありがとうございます。

さて、この岳北地域高校の魅力づくり研究協議会でございますが、昨年度精力的に何回か会議を重ねていただきまして、それぞれ飯山高校、下高井農林高校について我々として要望すべきことを3月30日に県教委の方へ要望書を提出したところでございます。その後、新年度に入りましてしばらくこの会議を開催していなかった訳でございます。委員さんの中には新たに交代された委員さんもおられる訳でございますが、引き続き令和3年度もこの研究協議会を推進し、県と地域それから学校が連携してより良い教育づくりを進めていけばというふうにご考えておるところでございます。

本日は、令和2年度の経過、それから一部要綱等を改正した方が良いという点もございまして、それをお話させていただき、飯山高校、下高井農林高校の現況等につきましても、ご報告いただく中で、今後の進め方についてご協議を賜ればと思います。

大きな方向としますと、昨年度につきましては県教委へお願いすべき事項を考えて要望した訳でございます。まだ具体的に県の方からはご回答は無い訳でございますが、それと合わせまして我々がそれぞれの自治体としてそれぞれの高校へどういう形で応援できるかというような面も含めて進めていく必要があるのではないかと考えているところでございますので、今後の進め方の中でみなさま方のご意見を賜ればと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

### 3 自己紹介

学校教育係長)

今回から新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、自己紹介をお願いしたいと思います。

各自、自己紹介

学校教育係長)

ありがとうございました。本日ですが、名簿に記載してございます野沢温泉村の富井村長様、栄村の宮川村長様は欠席でございますのでお願いします。

それでは次第の4番、議事に移ります。以降の進行につきましては協議会の会長が務めます。

### 4 議事

足立会長)

それでは議事に入らせていただきますが、この岳北地域研究協議会は県の方から示されました高校再編についてそれぞれ地域としてどう考えるかということきっかけにスタートした訳でございます、その1つの集大成として、昨年3月30日に県の方へ要望させていただいた訳でございますが、それで終わりではなく、引き続きこの魅力づくり研究協議会を継続しましょうということが昨年度の協議会の中で決定されていまして、引き続き実施していくということでございます。従いまして、協議会の設置要綱につきまして、当初と変わってきている点がございまして、今日はその点について皆様方にお諮りしたいと思いますのでよろしくお願いします。

#### (1) 協議会設置要綱の改正について

資料1に基づき事務局から説明

審議の結果承認された。

#### (2) 令和2年度の経過について

- ・協議会及び各部会の経過について
- ・長野県教育委員会への要望結果について

資料2、3に基づき事務局から説明

足立会長)

今事務局の方から、協議してきた内容や経過につきまして、説明いただいた訳でございますが、令和3年3月30日に要望しました内容について、現在も検討しているところだとは思いますが、今の時点でご報告していただけることがございましたら、県教委さんの方からお願いできればと思います。

上原主幹指導主事)

県の方に要望いただきまして、全体の要望事項のところがございますが、早急に中学生の期待に応えられるよう環境整備等も含めまして取り組むということに関しましては、現在全県の動きが再編整備計画の2次案の確定に向けての動きを進めているところ

でございます。2次案というのは地域で言いますと隣の中野、須坂地域、上田、上伊那の1次分のところでまだ掲載が不足していました総合技術高校と総合学科の関係の高校のところ、それから木曾地域を含めまして今2次案を作成し、住民説明会の区切りがついたところでございます。全県の案につきましては来年の3月のところで全県案を3次案として公表できればと考えております。そうしますとやっここで全県の計画がそろそろ段階でございます。現在のところ要望の中にあります、早急に整備に取り組むというところがございますが、整備に関しては既にエアコン等も含めながら、追加の整備等の調査も始めておりますので、並行して行いますが、全体の再編計画は来年の3月というところでございます。それぞれの学校への要望事項で、飯山高校への要望事項の教員の加配、外部講師の派遣、スポーツ科学科の施設設備充実のための予算措置のところは重々承知しておりますので、関係部署と連絡調整を図りながら検討してまいりたいと思います。農林高校への要望に関しても、校舎の整備は承知しております。販売金、実習の関係の売上金の還元金、こちらではインセンティブ予算と言っておりますが、その見直しについても関係部署と連携、情報共有しながら検討してまいりたいと思います。さらに、農林高校は農業の関係で先進的な機材の導入が令和3年度のところで進められております。デジタル化に対応した産業教育装置の導入ということで、バックでの野菜栽培のシステムや水田の水の管理のシステムを導入してAIやDX化等も含めたところを対応できる形で考えております。要望の最後のところの160人の基準に関しても、実施方針が出てからも日がたっておりまして、まだ2次案の途中ということもあり、中途のところで大きく基準を変更することは今のところできませんので、現在のところ基準に関しては、全県出たところで全てを見通しながら検討していきたいと考えているところでございます。既にやっているところを含めまして完全に見える形でここまで進んでいてと話ができれば良いのですが、現在のところは検討しているところです。以上です。

足立会長)

ありがとうございました。現在いろいろご検討いただいているということでございますが、只今の関係につきまして、みなさんの方でご質問等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは今県教委の方からご報告があった訳でございますが、引き続き我々の要望について検討を進めていただければと思いますのでお願いします。1年間をかけて全体会、部会を何回も開催してこういう形で整理しお願いした訳でございますので、具体的な進展ができますようお願いします。

### (3) 岳北地域高校の現状について

#### ・飯山高校

資料に基づき、湯本校長より、令和3年度入学者選抜状況、令和2年度の進学状況、文科省からSSHの第Ⅲ期の指定を受けたこと等について説明

#### ・下高井農林高校

久根校長より、令和3年度入学者選抜状況、令和2年度の進学状況、令和4年度から地域創造農学科に学科が再編されること等について説明

足立会長)

ありがとうございました。みなさまの方で何かございますか。改めて地域の企業、地元へ就職する人が大勢おられて、地域の担い手となっていただいているのが非常によく分かりました。ありがとうございました。

#### (4) 今後の進め方について

資料4に基づき事務局から説明

足立会長)

今後の進め方でございますが、それぞれ各高校への支援等につきましては既にご検討いただいている訳でございますが、更に詰めていただいて、予算的に必要な部分も出てくると思いますので11月には全体会でまとめて、もしそれぞれの市村で予算化をしていく必要があるとすればまた議会の方へかけていかなければいけませんので、こんなスケジュールでどうかということでございます。併せて、今日県教委の方から要望に対してのご回答もあった訳でございますが、引き続きお願いしていかなければならない点についてはそれぞれの部会で論議していただきたいと思います。両校ともこの地域にとって不可欠な高校です。飯山高校は地域の進学校、農林高校は産業農業がベースになり卒業生が地域の企業へ就職し、それぞれの産業を担う中核になるののでしっかり存続していかなければならないというのが協議会の思いでございます。県教委へはこれをやってくださいとお願いしていただくだけでなく、地域として応援していかなければならないことについてはしっかり論議して、ぜひ具体的な形でまとまりますようそれぞれの部会でご協議をいただければと思います。

今小学生に向けて、プログラミングの教育が始まっています、学校だけでなく、大学・IT企業と連携して夏休み等にやる計画があります。小学生がグループ毎にやっていますので、その時に高校生に来てもらいサポートしてもらうことはどうか。中身的にはレベルが高いと思いますので、プログラミングを作って何かを動かすとか、先生が1人で教えるのではなく、高校生がサポートしてくれると有難いので、ご検討いただければと思います。

また、飯山市では高校生チャレンジ事業という100%補助の事業を数年前からしておりまして、飯山高校生・下高井農林高校生それぞれ我々がびっくりするような非常に具体的な地域に根差した研究をしていただいて、具体的な実績を出していただいている。実社会に出て、社会人が実際に体験していくことと同じレベルの勉強をしているということなので、高校生がその時期に学ぶということは大事だと思う。その中でも高校生が力を持っているので、そういう面について応援していく、また地域も応援しています。そばの関係は具体的に進んでいますので、連携をしながら進められればと思っていますところでございます。

それでは進め方については、このスケジュールで進めさせていただいてよろしいですか。

昨年度要望させていただいた、在籍生徒数が120人以下の状態、もしくは在籍生徒数が160人以下且つ在校生の半数以上が該当高校へ入学している中学校が無い場合というのはおかしい感じがする。高校の生徒が120人以上いるにも関わらず、160人以下になり、なおかつ中学校で半分以上の生徒が進学しない中学校があるというのは、高校と中学は関係ない気がする。定員数さえ確保できれば問題ないはずだと思うので、全県で検討するというお話でしたが、またぜひ検討いただきたいです。

あともう1点ですが、今、日本全体の自治体がいかに地域で今いる若い人がこの地域に残り、この地域で仕事を持ち働き、地域を担っていただくかということが最大の課題です。行政は縦割りで地域振興をする課はそういうのを一生懸命やっているが、教育委員会サイドで言いますと、学校の存続が最重要な価値になる。統合されて一番大事な価値についてみんなで集積していかなければいけないと思います。それぞれがバラバラの価値でバラバラの事業を進めていったのでは、地域、日本全体が見えてこなくなります。一番やらなければならないことは何か、それに対してそれぞれの部署がどういう形で取り組んでいくかという価値転換についてもまた県の立場でご検討いただければ有難いと思います。

他にございますか。よろしいですか。

## 5 その他

子ども育成課長)

ありがとうございました。只今の今後の進め方をご確認いただきましたので今後また、飯山高校、下高井農林高校それぞれの部会の事務局で各部会の日程を段取りさせていただきたいと思っております。そして、部会の方から通知させていただきますのでよろしくをお願いします。事務局からは以上でございます。委員のみなさまから全体を通して何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

## 6 閉会

子ども育成課長)

特段無いようでしたら、以上を持ちまして第1回の高校魅力づくり協議会を修了させていただきますと思います。お疲れさまでした。